学校番号	209

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、自ら考えるだけでなく、周りの人と共に考える活動を行います。
・自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・提出課題は期限を守って必ず提出して下さい。
・レポート課題を定期試験毎に提出することになります。丁寧に取り組みなさい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会における様々な事象や課題について、基本的な概念、原理・法則を理解し、基礎的な知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
数学的に考察し、自らの考えを発表したり発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学の歴史や、社会で活用されている数学に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会における様々な事象や課題について、基本的な概念、原理・法則を理解し、基礎的な知識を身につけている。	数学的に考察し、自らの考えを発表したり発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	数学の歴史や、社会で活用されている数学に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	身の回りの	・場合の数 ・図形	a: 樹形図の作成方法および樹形図を用いた場合の数の計算方法を理解している。ある図形で平面がしきつめることができるかどうかを計算によって調べることができる。	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察

	数学		b: 場合の数について樹形図を用いて考察することができる。同じ図形で平面をしきつめることができるか、様々な図形について考察することができる。 c: 樹形図に関心を示し、それらを活用しようとしている。正方形のタイルなど、同じ図形で平面を敷き詰めることができることに興味を示すことができる。			
2	社会生活と数学	・経済 ・コンピュータ	a: 単利法によるローンの返済額を求めることができる。10 進法を２進法で表すことができる。 b: ローン期間の違いで返済額が変わることについて考察することができる。電球の入切から、それが表す数字について考察することができる。 c: 複利の仕組みについて関心を持ち、ローンの返済額を求めることに活用することができる。コンピュータの原理となる２進法に関心を持つ。	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察
3	数学の発展と人間活動	・数と人間 ・数学と文化	a: 古代ローマの記数法を現代の記数法で表すことができる。 ある整数が 4 の倍数であるか、または 9 の倍数であるかを調べることができる。 b: 古代ローマの数の表し方から現代での数の表し方を考察することができる。倍数の見分けの方法を用いて、ある整数が 4 の倍数であるか、または 9 の倍数であるかを考察することができる。 c:古代ローマの記数法に関心をもち、5進法を 10 進法で表すことに活用することができる。 ０の果たす役割について関心をもち、倍数を見分けることに活用することができる。	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察	ワークシート レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度